



# STOP THE 格差社会! 全道キャラバン通信

NO.11 2013.6.12 発行責任者 連合北海道組織労働局

8～9日の週末は留萌管内 8市町村を走行し、3カ所で街頭演説  
街宣車を上川地協に渡した後、10日(月)留萌地区集会を200人で開催!

2日間で留萌管内を走行し留萌管内の8市町村を周り、走行距離は506キロに達した。  
10日(月)に開催された留萌地区集会には200人が参加した。

留萌地協の村上会長は「政府の規制改革会議で、解雇規制の緩和などを主張していた。」と現政権への危惧を強く訴えた。集会に駆けつけた小川参議員は「円安株高の利益の7割は機関投資家に回っており、今後所得税などが上がると可処分所得は増えず、実体経済は好転しない」とアベノミクスのもろさを指摘した。



小川 勝也参議員



羽幌沿岸フェリー前で街頭演説する野呂事務局長



自治労留萌 柿崎書記長



JP労組留萌支部 大塚書記長

連合北海道の渡辺副事務局長からの基調提起の後、地域を代表して自治労留萌地本の柿崎書記長から、地域の公共サービスは自治体職員のみならず非正規で働く人たちが支えており、質の高い公共サービスの維持を決意表明した。続くJP労組留萌支部の大塚書記長は、最賃の719円でフルタイムパートとして働いても月給12万、年収は144万で、とても生活できる金額ではない。労働者保護の観点から今後も戦うと力強い決意表明があった。

地区集会後の青年選対総決起集会には20人が参加し、連合北海道渡辺副事務局長を交えて活発な意見交換が行われた。



留萌地協 村上会長と集会参加者

2013.6.10 地公三者共闘会議

「国に準じた新たな給与削減反対のたたかい」勝利!!

## 全道昼休み総決起集会

副知事交渉の10日、昼休み総決起集会が開催された。15年に及ぶ長期の独自削減を行ってきたが、給与削減の論拠が不明確で、人件費見合で削減された交付税70億を大きく上回る110億の削減提案で、政府の進める賃金上昇によるデフレ脱却とも矛盾しており、理不尽な削減提案には最後までたたかい抜く決意である。

\*11日朝の最終回答

月例給で一般職層の削減幅を圧縮!

主査・主任級 ▲7.15% (提案 7.77%)

30歳以下は提案通り (▲4.77%)

各種手当へのはね返りはなし などの内容で労使合意に達した。



連帯の挨拶をする  
連合北海道工藤会長と参加者



高橋知事は約束を守れ!

ストップザ格差社会!  
札幌 到着集会  
とき…六月十六日(月)おひる一二時  
ところ…大通公園 西十一丁目